

# 国士館要覧

KOKUSHIKAN GENERAL INFORMATION  
SINCE 1917

## 2018

### 国士館要覧 2018

発行日 平成30年7月1日

発行 学校法人国士館

編集 理事長室広報課

〒154-8515

東京都世田谷区世田谷4-28-1

Tel 03-5481-3115

<http://www.kokushikan.ac.jp/>

本要覧は平成30年5月1日現在の情報に基づいています。

人と社会を支える力



# 建学の由来と理念

日本は明治維新後、西洋文明を積極的に受容し、社会の近代化を急速に推進してきました。このため社会はおおいに伸張を遂げましたが、あまりに急激な近代化であったため、伝統文化を破壊し、軽視する風潮さえ生じました。日露戦争後には、国内問題が悪化し国民意識が変化するなかで、さまざまな社会問題が発生し、深刻な社会不安が引き起こされました。

このような当時の社会状況を憂い、柴田徳次郎ら有志は、日本の「革新」をはからんと、「社会改良」と「青年指導」を目的として1913(大正2)年「青年大民団」を組織し、1917年、「活学を講ず」の宣言とともに、私塾「国士館」を創立するに至りました。

創立者たちのねらいは、吉田松陰の精神を範とし、教学の適地として世田谷の松陰神社隣接地に学舎を建設し、「国士館設立趣旨」でうたわれているように、日々の「実践」のなかから心身の鍛錬と人格の陶冶をはかり、国家社会に貢献する智力と胆力を備えた人材「国士」を養成することにありました。

以来、「国士」養成を理念として、学ぶ者みずからが不断の「読書・体験・反省」の三綱領を実践しつつ、「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を世に輩出してきました。

今日、国士館は、このような建学の志を大切に継承しながら、新たに発展を遂げた研究教育の諸領域でも、知識と実践の水準を高めつつ、世界の平和と進運を目指し、現代社会に積極的に貢献する真摯な努力を続けています。

## 建学の精神

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国士』の養成」を目指す。

## 教育理念

「国士」養成のため、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を兼ね備える教育を行う。

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと  
「勤労」とは、向上心を持って、誠実に仕事をする事  
「見識」とは、道理のもと、物事を見抜く力をもつこと  
「気魄」とは、信念と責任を持って強い心でやり通す力のこと

## 教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること  
「体験」とは、智恵を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること  
「反省」とは、何事も行った後、その行為を省みること  
「思索」とは、省みた内容を検討し、次なる目標を立案すること

# CONTENTS

## 目次

- 02 理事長挨拶
- 03 トピックス
- 04 学長挨拶
- 05 館歌・学園章
- 06 校長挨拶
- 07 国士館大講堂
- 08 データファイル 2018
  - 08 学生数
  - 10 国際交流
  - 11 就職状況
  - 12 卒業生数 / 財務状況
- 14 組織
- 17 環境
  - 17 世田谷キャンパス
  - 18 町田キャンパス
  - 19 多摩キャンパス
- 20 歴史
  - 20 年表
  - 22 設置学校の変遷
- 24 アクセス
- 25 お問い合わせ窓口一覧

## 理事長挨拶



学校法人国士館 理事長

# 大澤 英雄

おおさわ・ひでお

1936年北海道生まれ

1960年国士館大学体育学部卒業

1960年本学に入職、1981年体育学部教授、1992年から2001年まで同学部学部長、2003年から2006年まで国士館大学学長

2006年本学名誉教授、学校法人国士館常任理事、2008年学校法人国士館副理事長を務め、2009年4月学校法人国士館理事長に就任

1992年から2004年まで財団法人日本サッカー協会理事・特任理事、1998年から2004年まで全日本大学サッカー連盟理事長、2004年から2006年まで全国体育系大学・学長学部長会会長、2008年全日本大学サッカー連盟顧問、2014年一般財団法人関東大学サッカー連盟会長、2015年からNPO法人日本サッカー指導者協会理事長

2009年から全国体育スポーツ系大学協議会理事、2012年から日本私立大学協会理事

2015年から公益財団法人私立大学退職金財団監事

国士館は1917(大正6)年に私塾「国士館」として創立し、1958(昭和33)年に国士館大学を創設して以来、学園内外の皆様からの厚いご支援により、大学7学部・10研究科および中学校、高等学校を擁する総合学園として発展してまいりました。

「世のため、人のために尽くせる人材『国士』養成」を旨とし、創立から100年を経て、表現方法は時代と共に変化を遂げてまいりましたが、その根底にあるのは「他への献身」という考え方です。これは、真心を持って人に尽くすことであり、本学創立者の柴田徳次郎先生が学生・生徒に対して深い愛情をもって教えを説く姿から、当時学生であった私自身が学んだことであります。本学が教育理念とする四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を掲げ、人材育成に取り組んだ創立者の思いを、現代のニーズに合わせて伝えていくことが、継承者である私たちの使命であると考えます。一世紀前に創立者が掲げた理念は、今も脈々と受け継がれており、その一例として2012(平成24)年に設置した防災・救急救助総合研究所を中心に、防災拠点大学としての機能をさらに強化するとともに、学生・生徒への防災教育に力を入れています。

国士館は昨年創立100周年を迎えました。創立記念式典をはじめとする記念行事「国士館100年祭」を9日間にわたって開催し、多くのお客様のご来場のもと盛会裡に終えることができました。期間中に掲げた「100年分の感謝を込めて」というメッセージを皆さまにお届けすることができたならば、これ以上の喜びはありません。あらためてここに御礼を申し上げます。

国士館は新たな歴史の創造と発展に向け、その一歩を踏み出しています。今後は、第2次中長期事業計画の策定、2020東京オリンピック・パラリンピック支援など各種施策を推し進めながら、新時代にふさわしい国士館文化(ブランド)の醸成、スポーツ振興など様々な改革を実行してまいります。併せて、最先端の教育環境の維持と充実を図るべく、施設・設備環境の整備にも継続して取り組めます。社会に求められる学園であり続けるために、創立101年目からの歩みを確かな足取りで進めていく所存です。

# トピックス

## ▶ 創立100周年記念式典・祝賀会を挙行

2017(平成29)年11月4日、創立100周年記念式典を東京・千代田区のホテルニューオータニの「芙蓉の間」で挙行了。式典には三笠宮家から彬子女王殿下が臨席されたほか、学園役職者をはじめ教職員、在学生代表者、卒業生、海外協定校や関係企業など1,000人を超える関係者らが、100年に一度の佳節を盛大に祝いました。



式典後には、創立100周年祝賀会を同じくホテルニューオータニの「鶴の間」に会場を移して開催しました。引き続き、彬子女王殿下も臨席され、卒業生のほか海外協定校や関係企業など、本学を支えてきた多くの招待客らで賑わいました。また、安倍晋三内閣総理大臣からのお祝いのビデオメッセージも上映されました。

## ▶ 国士館100年祭を開催

創立100周年を記念して、2017(平成29)年10月27日から11月4日にかけて「国士館100年祭」を開催しました。期間中は学園祭と合わせ、各キャンパスでシンポジウムやツアー企画など、さまざまなイベントが実施されました。



100年祭の開始を告げるオープニングセレモニーを、10月27日に世田谷キャンパスのグラウンドで開催。会場には学園役職者のほか学生・生徒・教職員ら約2,600人が出席し、創立100周年を祝うとともに9日間にわたる100年祭の成功に向け、出席者全員でバルーンリリースを行いました。



## ▶ 太宰府天満宮より梅の木が恵与

創立100周年を記念して、太宰府天満宮より梅の木が恵与されました。旧太宰府キャンパスなどを通して長年交流があったことから恵与されたもので、学生・生徒の成長と活躍を見守る学問の木として、世田谷に「しだれ梅」、町田に白梅の「長谷川しぼり」、多摩に紅梅の「天神梅」が植樹されました。



## ▶ 格付評価は昨年に続き「AA-」／「安定的」を取得

学校法人国士館は、2018(平成30)年4月16日付で株式会社日本格付研究所(JCR)より、年々厳しくなる環境の中で、昨年に引き続き長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」の格付を取得するとともに、格付の見直しは「安定的」との結果を得ました。

この「AA-(ダブルAマイナス)」は、10等級ある格付の上から2番目(AAレンジ)に位置し、「厳格な予算管理の下、減収圧力に対応できる収支構造へ転換されつつあり、当面は底堅い基本金組入前当年度収支差額を確保できるとみられる」と評価されています。

## ▶ 国士館楓の杜キャンパス整備計画

2016(平成28)年町田市野津田に取得した校地の名称を「国士館楓の杜キャンパス」と命名し、今年度よりグラウンドをはじめとする新キャンパスの整備計画に着手しました。

## 学長挨拶



国士館大学 学長

## 佐藤 圭一

さとう・けいいち

1955年青森県生まれ

1984年国士館大学大学院政治学研究科政治学専攻博士課程修了、2006年政治学博士(国士館大学)

1984年本学に入職。2002年政経学部二部教授、2003年政経学部教授、2012年大学院政治学研究科長

同学部政治学科主任を2期(2002年から2003年、2006年から2008年)、同学部教務主任を3期(2003年から2004年、2004年から2005年、2007年から2010年)務める

2015年12月国士館大学学長に就任

2009年から宗教学会理事、2014年から比較憲法学会理事

専門はアメリカ政治史

「国士館創立101年目」の新たなスタートが切られた2018(平成30)年。日本の大学(特に私立大学)は過去に類例を見ない“厳冬期”を迎えることになりました。①18歳人口の継続的減少②入学定員超過率の厳格化③東京23区における私立大学の定員抑制など。大学の財政基盤を揺るがしかねない多くの課題が我々の面前に山積されています。大学を取り巻く環境は「保護」から「淘汰」へと転換したのです。

そもそも私立大学の存在意義は、国民の負託に応えることを目的として、「建学の精神」を体現する有為な人材を輩出するとともに、知的生産活動を通じた社会貢献にあります。情報開示が進み、誰もが等しく教育研究に関わる情報の入手が可能となった今日、国士館大学がいかなる人材を養成し、いかなる社会貢献を果たしているかについての関心がこれまで以上に高まっています。

本学では教学・法人が一体となり、教育の質保証と情報公開に努めております。①アセスメント・テスト等による学修成果の可視化②アクティブラーニング等により主体的学習を促す教育課程の編成③多くの自治体との連携協定による防災教育や健康増進プログラムの提供、活力ある街づくりへの参画などに例証される地域連携の強化など、全学的な体制の下で多様な施策が実行に移されています。

加えて、国士館大学だからこそ求められるものは、他大学の追随を許さない特色あるオンリーワンの大学になることです。幸いにも国士館には、創立者・柴田徳次郎先生や諸先輩方が築き、一世紀にわたって脈々と息づく、大切な「建学の精神」があります。「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を体現し、「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材」、すなわち公德心溢れる国士を養成するということです。これらは正しく国士館が唯一無二の大学となるための貴重な資産です。

国士館大学はこれまで培ってきた伝統に一層の輝きを添え、次の100年の更なる発展に向け、“子どもたちを入学させたい大学、学生を採用したい大学”との評価を受け続けるために努めて参る所存です。

一、霧わけ昇る陽を仰ぎ  
 梢に高き月を浴び  
 皇国に殉す大丈夫の  
 ここ武蔵野の国士館

二、松陰の祠に節を磨し  
 豪徳の鐘気を澄す  
 朝な夕なにつく呼吸は  
 富嶽嵐の天の風

三、区々現身の粗薪に  
 大覚の火を打ち点し  
 三世十方焼き尽す  
 至心の焔あふらばや

## 国士館館歌

作詞 柴田徳次郎  
 作曲 東儀鉄笛



### 学園章 全学の総意で決めた「楓」

国士館が麻布 筈 町から、世田谷の松陰祠畔に移ったのは1919(大正8)年。その前年、国士館創設の同人たちは揃って松陰神社に詣でています。激動の幕末期、思想家、教育者として峻烈な生きざまを貫き通した吉田松陰に寄せる彼らの崇敬の念は篤く、新生国士館を松下村塾の系譜を継ぐ学塾に育て上げたいと請い願ったのです。社の境内には大和魂を表す桜樹と、松陰の熱き血潮を彩った楓の古木があります。国士館高等部(現在の大学の前身)建学式の朝、創立者の柴田徳次郎は、朝日を受けて真紅に映える楓を見て松陰の赤心に思いを致し、楓を校章にと胸中ひそかに意を決したといひます。1920年の春、その思いを国士学生会(学生の自治組織)に語り、学生会もまたこれに賛同し、全学の総意によって、校章は「七生報国の士を象徴する七片の楓葉」と決まったのです。



### コミュニケーションマーク

地球を意味する円弧に歴史と将来への希望を表わすエレメントが交差して、英文表記の「Kokushikan」のイニシャル「K」を象っています。多くの人間が集い、その文化や知識、技術が“活発に交流”し、活気に溢れた国士館となるよう、社会に向かって開かれた学園、オープンでグローバルな学園のイメージを表現しています。カラーは、深紅の楓にも由来し、“情熱”や“喜び”を表すオリジナルカラーの「国士館レッド」です。1997(平成9)年の創立80周年記念事業の一環として制定されました。

## 校長挨拶



国士館高等学校・中学校 校長

## 福田 三郎

ふくだ・さぶろう

1951年岩手県生まれ

1974年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業

1976年国士館高等学校(全日制)・中学校の常勤講師として入職。1977年教諭、2001年教頭、2004年副校長

1985年同校振興対策室委員(1990年3月まで)、1995年生徒指導主任(2001年3月まで)、2001年入試委員長(2016年3月まで)を務める

2016年4月国士館高等学校・中学校校長に就任

2017年東京都高等学校体育連盟空手道専門部長  
2017年東京学生・生徒補導協会会長

1973年から芸術集団エコール・ド・エヌ会員

1985年には芸術グラフ賞を受賞。そのほか、グループ展(東京・名古屋・パリなど)に出品

本学園は創立101年目を迎えましたが、近年では教育のあり方も変化し、グローバル人材やICT、少子化や2020年問題(大学入学共通テスト等)が目の前に迫っています。

また、人格形成の基礎は中等教育の最終年齢である18歳までに98%が決まるといわれています。中学・高校時代は、成功や失敗だけではなく、挑戦した貴重な経験を活かし、大きく成長する絶好の機会です。学校生活の中で何事にも心を開いて経験を積み重ねることで、人の接し方や礼儀作法を学び、心身を鍛練させ、すべての中学・高校生がさらに成長することを願っています。

国士館は「読書・体験・反省」の三綱領を実践し「思索」することで「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げています。三綱領は今でいう「PDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)」です。創立者たちは、創立時すでにこの法則を取り入れて教育活動を展開していたのです。

これをさらに実践すべく、2015(平成27)年度から新たに学校改革を行っています。本校の教育方針である文武両道の強みを活かして、倫理観・道徳観・善悪や美醜といった生徒の感性を深化させ、一層の学力向上を目指し「分かったつもり」を「できる」に変える学習システム「K-Improve」の導入に加え、朝学習も取り入れ、放課後や部活動終了後の午後8時30分まで利用できる自学自習教室を整備し、質問に対応するチューターも配置しています。

高等学校では「K-Improve」での学習を効果的に定着させるため、学習教材のスタディアプリを導入して、生徒の得意・不得意を分析して課題学習を行い、学習成果を判定する実力試験を年に4、5回行っています。

中学校では多彩な体験カリキュラムや心の成長を育むために「エコグラム」を取り入れるとともに英語に親しむため、中学校全学年で週10時間の授業カリキュラムを設定し、週2回放課後に「英語村」を開き、コミュニケーション環境を提供するなど、基礎学力とグローバル教育の向上を図っています。

実績を着実に積み重ねながら、生徒の成長を願ってさらに学習環境の整備を進め、教育活動にまい進する所存です。

## 国士館大講堂

### 国登録有形文化財(建造物)

名称:国士館大講堂(こくしかんだいこうどう)

員数:1棟

所在地:東京都世田谷区世田谷4丁目28番1号

構造および形式:木造1階建て、入母屋造銅板平葺

建築面積:285.34㎡

延床面積:268.81㎡

建設年代:1919(大正8)年上棟



2017(平成29)年10月27日に発行された官報(号外第235号)告示「文化財を登録文化財に登録する件」(文部科学省告示第170号)で、国士館大講堂が「国登録有形文化財(建造物)」に正式登録されました。

国士館大講堂は、国士館が創立した1917(大正6)年から2年後となる1919年に建立されました。当時西洋文明の流れに競って建築された西洋館ではなく、あくまでも日本の伝統的な意匠にこだわって造られた大講堂は、国士館の教育理念を象徴的に表現したものとされます。

建築当初は教室として使用されるほか、創立者・柴田徳次郎による館長訓話や各界著名人による講演など式典や講演会場として利用され、関東大震災の際は、被災者を広く受け入れたという記録も残っています。震災、戦火の被害を免れ国士館創建時から残る唯一、現存する建物です。現在は、課外活動での使用や新入生ガイダンス、オープンキャンパスなどで歴史展示と併せて公開し、創立時の教育思想や時代背景を今に伝えています。

#### 特徴

国士館大講堂は国士館創立時の教育思想を反映し、伝統的であり、かつ象徴的な建物として寺院建築(本堂)風の建築様式を採用しています。上記の建築様式でありながら、小屋組には一部トラス工法を用いており、創建時には屋根を天然スレート葺きにするなど技術や材料に創意の跡がみられます。大正時代の社会的背景・風潮・教育史を知る上で貴重な建物と考えられています。

#### 評価

・これまでの講堂という分類における登録文化財としては、都内最古である。  
また、和意匠の講堂は全国的に類例が少なく、貴重である。  
・改変は見られるものの、往時の姿をよく留めている。  
・国士館大講堂は国士館建学の象徴として創建時から唯一の建物である。

▶ 学生・生徒数 ( )は女子内数

(単位:人)

大学院	修士課程	196 ( 65)	231 ( 73)
	博士課程	35 ( 8)	
学部		12,920 (3,128)	
大学院・学部合計		13,151 (3,201)	

大学院

専攻	学生数	
	修士課程	博士課程
政治学研究科	23 ( 10)	9 ( 4)
経済学研究科	15 ( 4)	2 ( 0)
経営学研究科	12 ( 6)	0 ( 0)
スポーツ・システム研究科	25 ( 10)	5 ( 1)
救急システム研究科	救急救命システム専攻	14 ( 3)
	救急救命システム専攻(1年コース)(修)	5 ( 0)
工学研究科	機械工学専攻(修)	10 ( 0)
	電気工学専攻(修)	7 ( 2)
	建設工学専攻(修)	15 ( 4)
	応用システム工学専攻(博)	—
法学研究科	28 ( 4)	1 ( 0)
総合的財産法学研究科	8 ( 2)	—
人文科学研究科	人文科学専攻	10 ( 7)
	教育学専攻	4 ( 1)
グローバルアジア研究科	グローバルアジア専攻(修)	20 ( 12)
	グローバルアジア研究専攻(博)	—
大学院計	196 ( 65)	35 ( 8)

学部

学部	学科	学部別合計	学生数
政経学部	政治学科	2,462 ( 388)	222 ( 35)
	政治行政学科		586 ( 90)
	経済学科		1,654 ( 263)
体育学部	体育学科	2,414 ( 583)	1,017 ( 200)
	武道学科		397 ( 88)
	スポーツ医科学科		638 ( 98)
	こどもスポーツ教育学科		362 ( 197)
理工学部	理工学科	1,434 ( 203)	1,434 ( 203)
法学部	法律学科	1,880 ( 419)	905 ( 207)
	現代ビジネス法学科		975 ( 212)
文学部	教育学科	1,761 ( 659)	171 ( 83)
			89 ( 57)
	史学地理学科		348 ( 83)
	文学科		228 ( 117)
	教育学科		130 ( 54)
			50 ( 14)
			103 ( 52)
	史学地理学科		191 ( 70)
			80 ( 11)
			139 ( 21)
	54 ( 15)		
	178 ( 82)		
21世紀アジア学部	21世紀アジア学科	1,684 ( 551)	1,684 ( 551)
経営学部	経営学科	1,285 ( 325)	1,285 ( 325)
学部計			12,920 (3,128)

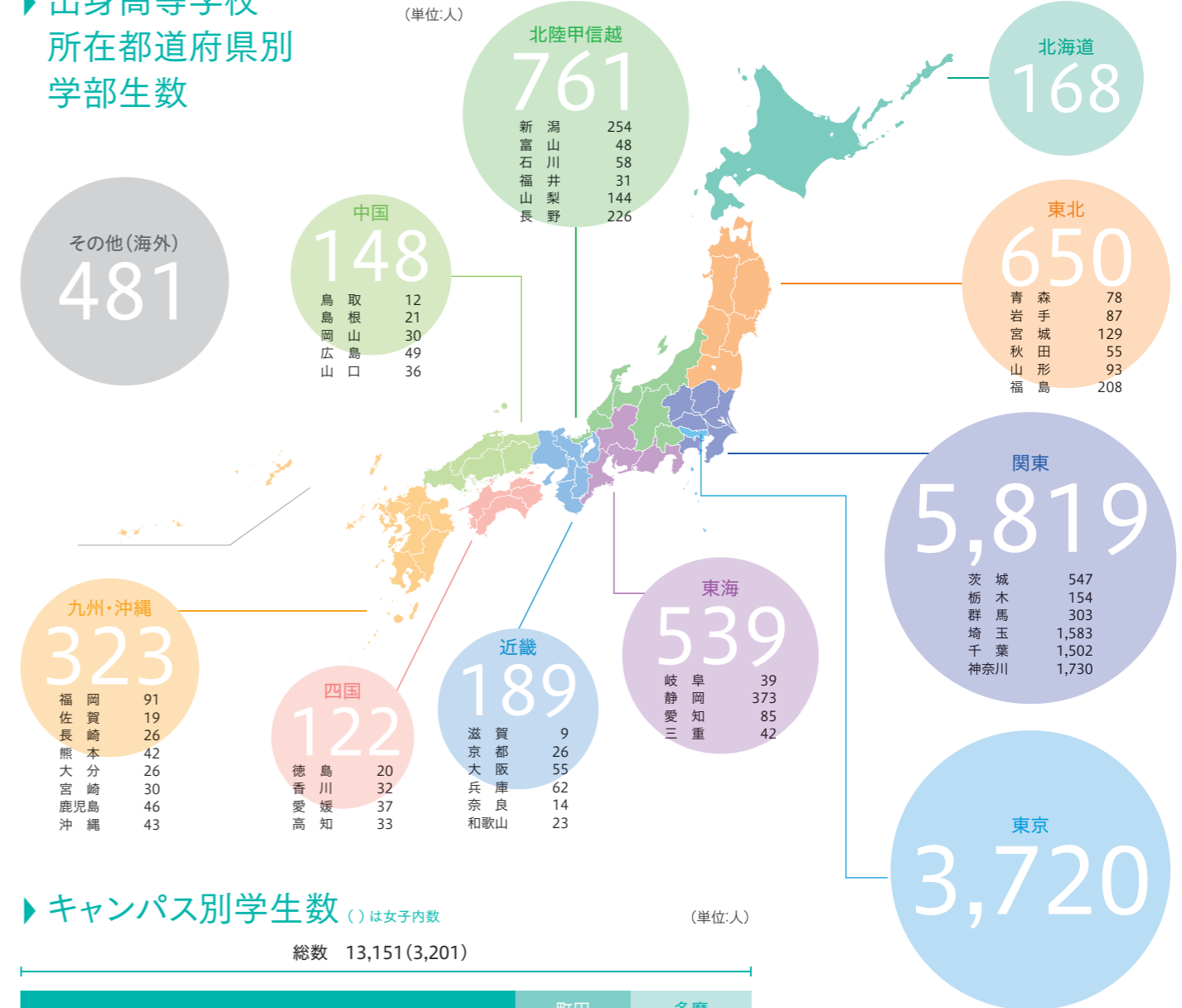
高等学校・  
中学校

		生徒数	
高等学校	全日制	901 ( 238)	1,075 ( 269)
	昼間定時制	174 ( 31)	
中学校			112 ( 29)

\*学生・生徒数および学部志願者・入学者数は「学校法人基礎調査」(5/1現在)に基づいています。

▶ 出身高等学校  
所在都道府県別  
学部生数

(単位:人)



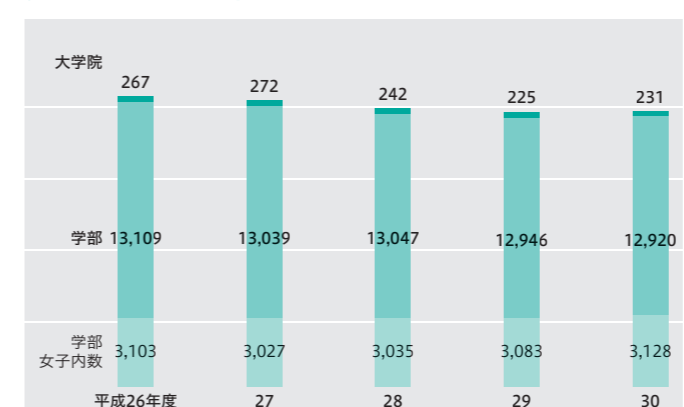
▶ キャンパス別学生数 ( )は女子内数

(単位:人)



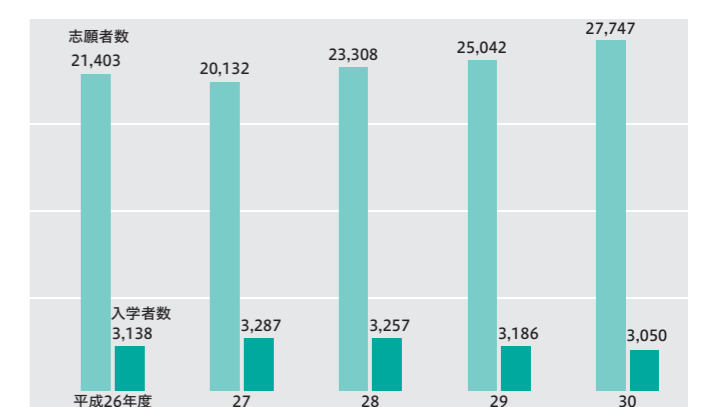
▶ 学生数推移

(単位:人)



▶ 学部志願者・入学者数推移

(単位:人)



▶ 出身国(地域)別留学生数

\* 正規課程在籍留学生数  
(単位:人)

	修士	博士	政経学部	体育学部	理工学部	法学部	文学部	21世紀アジア学部	経営学部	合計
中国	50	6	60		27	11	13	217	33	417
韓国			2		3	3		20	4	32
インドネシア	9	2								11
台湾					1					1
ベトナム			1		1			2		4
マレーシア				1						1
タイ	1							1		2
トルコ共和国							1			1
ドイツ							1			1
ケニア								2		2
ハンガリー				1						1
ブルガリア							1			1
合計	60	8	63	2	32	14	16	242	37	474

▶ 海外協定校・機関

◆ 海外研修校

地域	所在地	大学名	
アメリカ	ニューヨーク	セント・ジョンズ大学◆	
	カリフォルニア デイビス	カリフォルニア大学デイビス校◆	
	カリフォルニア サンフランシスコ	サンフランシスコ州立大学	
カナダ	クランブルック	カレッジ・オブ・ザ・ロッキーズ◆	
	バンクーバー	サイモン・フレイザー大学	
オーストラリア	ブリスベン	グリフィス大学◆	
韓国	ソウル	漢陽大学校	
	釜山	東義大学校◆	
	慶尚北道	国立安東大学校	
	ソウル	高麗大学校	
	光州	国立全南大学校	
中国	北京市	北京師範大学	
	北京市	北京工業大学◆	
	山西省	山西大学	
	江蘇省	蘇州大学	
	黒龍江省	黒龍江大学	
	上海市	上海対外経貿大学	
	湖北省	武漢大学	
	吉林省	吉林大学	
	遼寧省	大連外国語大学	
	遼寧省	大連東軟信息学院	
	広東省	深圳職業技術学院	
	山東省	青島大学	
	台湾	台北市	中国文化大学
		高雄市	国立中山大学

23カ国1地域/51大学・機関

地域	所在地	大学名
モンゴル	ウランバートル	モンゴル国立大学
フィリピン	マニラ	デ・ラ・サール大学
ベトナム	ホーチミン	ベトナム国家社会人文学科大学(USSH)
インドネシア	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学
	ソロ	セブラスマル大学
タイ	バンコク	チュラロンコン大学
	バンコク	タイ国立救急医療センター
	バンコク	ナワミンタラティラード大学
	チェンマイ	チェンマイ大学
ミャンマー	ヤンゴン	ヤンゴン大学
ハンガリー	ブダペスト	センメルヴェイス大学
ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン大学
ロシア	ウラジオストク	極東連邦大学
ウズベキスタン	サマルカンド	国立サマルカンド外国語大学
	タシケント	世界経済外交大学
キルギス	ビシュケク	キルギス国立民族大学
カザフスタン	アルマトイ	アル・ファラビカザフ民族大学
エチオピア	アディス・アベバ	アディス・アベバ大学
イラク	バグダッド	イラク国考古遺産庁
ヨルダン	イルビド	ヤルムーク大学
	アンマン	ヨルダン考古庁
ブルガリア	ソフィア	国立スポーツアカデミー
	ヴェルコ・タルノボ	ヴェルコ・タルノボ大学
トルコ	バン	ユズンジュ・ユル大学
	アンカラ	ハジゲットテッペ大学
スウェーデン	ルレオ	ルレオ工科大学

▶ 主な就職先(平成29年度)

政経学部

青山商事(株)  
(株)NTTデータSMS  
(株)かんぽ生命保険  
(株)京葉銀行  
(株)ジェイアール東海ツアーズ  
(株)JR東日本ステーションサービス  
城南信用金庫  
新日鐵住金(株)  
積水ハウス(株)  
(株)筑波銀行

東京急行電鉄(株)  
東京地下鉄(株)  
東京トヨペット(株)  
東京日産自動車販売(株)  
日本郵政(株)  
(株)マイナビ  
都道府県市区町村職員  
警視庁ほか警察  
東京消防庁ほか消防  
公立私立学校教員

理工学部

(株)関電工  
(株)きんでん  
(株)サンゲツ  
清水建設(株)  
住友林業ホームサービス(株)  
積水ハウス(株)  
大和ハウス工業(株)  
高松建設(株)  
(株)中電工  
東日本旅客鉄道(株)

(株)日立ソリューションズ  
富士通エフ・アイ・ピー(株)  
スズキ(株)  
富士電機(株)  
みずほ証券(株)  
三菱地所ホーム(株)  
(株)雄電社  
都道府県市区町村職員  
警視庁ほか警察  
公立私立学校教員

文学部

(株)飯田産業  
(株)大塚商会  
(株)小田急リゾート  
(株)コナカ  
(株)コーセー  
相模鉄道(株)  
(株)JTB首都圏  
芝信用金庫  
住商セメント(株)  
(株)スズキ自販東京

(株)テレビ朝日サービス  
(株)東急ストア  
東武トップツアーズ(株)  
東洋製罐(株)  
東日本旅客鉄道(株)  
フジモトHD(株)  
(株)三菱東京UFJ銀行  
都道府県市区町村職員  
警視庁ほか警察  
公立私立学校教員

経営学部

(株)イオン銀行  
SMB C日興証券(株)  
(株)エービーシー商会  
岡三証券(株)  
鹿島建物総合管理(株)  
昭和飛行機工業(株)  
(株)大和証券ビジネスセンター  
(株)千葉興業銀行  
東日本旅客鉄道(株)  
(株)ファミリーマート

(株)星野リゾート  
(株)ホテル小田急  
HOYA(株)  
(株)ホギメディカル  
(株)みずほフィナンシャルグループ  
(株)三井住友銀行  
(株)山形銀行  
(株)ヨドバシカメラ  
都道府県市区町村職員  
東京消防庁ほか消防

体育学部

大崎電気工業(株)  
(株)北日本銀行  
(株)湘南ベルマーレ  
湧永製薬(株)  
セコム(株)  
(株)セルリアンタワー東急ホテル  
大同特殊鋼(株)  
辰巳屋興業(株)  
(株)筑波銀行  
能美防災(株)

東京トヨペット(株)  
(株)東邦銀行  
パナホーム不動産(株)  
(株)星野リゾート  
(株)三井住友銀行  
(株)ゆうちょ銀行  
都道府県市区町村職員  
警視庁ほか警察  
東京消防庁ほか消防  
公立私立学校教員

法学部

(株)足利銀行  
(一財)日本モーターボート競走会  
(株)イトーヨーカ堂  
(株)京葉銀行  
相模鉄道(株)  
城北信用金庫  
住友不動産販売(株)  
高見(株)  
ダイワボウ情報システム(株)  
日本通運(株)

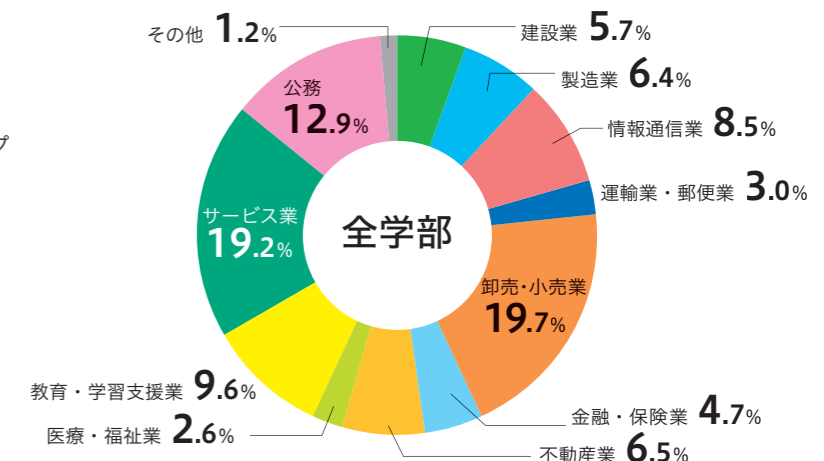
(株)フジタ  
(株)マイナビ  
ミサワホーム(株)  
(株)みずほフィナンシャルグループ  
みずほ証券(株)  
三井不動産ファシリティーズ(株)  
都道府県市区町村職員  
警視庁ほか警察  
東京消防庁ほか消防  
公立私立学校教員

21世紀アジア学部

アイリスオーヤマ(株)  
ANAエアポートサービス(株)  
いすゞ自動車首都圏(株)  
クリナップ(株)  
(株)ザ・キャピトルホテル東急  
(株)成城石井  
セコム(株)  
(株)セブン-イレブン・ジャパン  
東武トップツアーズ(株)  
日本郵政(株)

東日本電信電話(株)  
東日本旅客鉄道(株)  
福岡ソフトバンクホークス(株)  
(株)三重銀行  
(株)ヤナセ  
(株)横浜銀行  
都道府県市区町村職員  
東京消防庁ほか消防  
警視庁ほか警察  
公立私立学校教員

▶ 全学部 業種別就職状況(平成29年度)



# 卒業生数／財務状況

## ▶ 卒業・修了生数累計

(単位:人)

	学部等	設置年	平成29年度卒業・修了生数	累計
大学院	修士課程	1965(昭和40)年～	94	3,383
	博士課程	1965(昭和40)年～	4	125
	計		98	3,508
学部	政経学部*	1961(昭和36)年～	530	37,475
	政経学部二部	1965(昭和40)年～2007(平成19)年	—	13,034
	体育学部	1958(昭和33)年～	554	23,185
	工学部	1963(昭和38)年～2013(平成25)年	—	12,379
	理工学部	2007(平成19)年～	312	2,362
	法学部	1966(昭和41)年～	370	15,899
	文学部	1966(昭和41)年～	347	20,599
	21世紀アジア学部	2002(平成14)年～	388	5,096
	経営学部	2011(平成23)年～	260	1,037
	計		2,761	131,066
高等学校	全日制	1948(昭和23)年～	178	16,071
	昼間定時制	1948(昭和23)年～(旧制・商業科含む)	47	2,325
	通信制	2000(平成12)年～2018(平成30)年	20	1,257
	工業科		—	1,784
	計		245	21,437
中学校	旧制	1925(大正14)年～1949(昭和24)年	—	1,403
	新制	1947(昭和22)年～	40	2,308
	計		40	3,711
福祉専門学校		1995(平成7)年～2007(平成19)年	—	333
その他(短期大学等)			—	8,863
合計			3,144	168,918

※政経学部一部含む

## ▶ 博士学位授与者数

(単位:人)

区分	平成29年度	累計
課程博士授与者数	5	50
論文博士授与者数	1	44
合計	6	94

## ▶ 科学研究費助成事業(科研費)交付額(平成30年度、平成30年5月1日現在)

種目	件数	金額(千円)
基盤研究(B)	3	16,120
基盤研究(C)	25	30,680
挑戦的萌芽研究	1	1,430
若手研究	9	7,150
スタート支援	1	390
計	39	55,770

### 科研費

科研費とは、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野にわたり、基礎から応用までの独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とした、文部科学省及び日本学術振興会が交付を行っている「競争的研究資金」です。

## ▶ 外部資金受入状況(平成29年度)

区分	件数	受入額(千円)
受託研究	4	2,280
奨学寄附金	7	5,935
その他	7	9,255

### 受託研究

企業等から委託を受けて本学の研究者が行う研究

### 奨学寄附金

企業や篤志家などから寄附金を受け入れて、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度

## ▶ 財務状況 平成29年度 資金収支計算書

収入の部	
科目	決算額(百万円)
学生生徒等納付金・手数料収入	16,343
寄付金収入	103
補助金収入	1,164
その他の収入	9,838
資金収入調整勘定	△ 5,386
前年度繰越支払資金	8,605
収入の部合計	30,667

支出の部	
科目	決算額(百万円)
人件費支出	10,434
教育研究経費支出	4,419
管理経費支出	1,202
施設・設備関係支出	759
その他の支出	2,859
資金支出調整勘定	△ 805
翌年度繰越支払資金	11,799
支出の部合計	30,667

## 平成29年度 活動区分資金収支計算書

科目	決算額(百万円)
教育活動資金収入計	19,166
教育活動資金支出計	16,054
差引	3,112
調整勘定等	△ 1,222
教育活動資金収支差額	1,890
施設整備等活動資金収入計	92
施設整備等活動資金支出計	759
差引	△ 667
調整勘定等	101
施設整備等活動資金収支差額	△ 566
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,324
その他の活動資金収入計	4,052
その他の活動資金支出計	2,182
差引	1,870
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	1,870
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	3,194
前年度繰越支払資金	8,605
翌年度繰越支払資金	11,799

## 平成29年度 事業活動収支計算書(事業活動収入構成比率)

科目	決算額(百万円)	比率
教育活動収入計	19,172	97.4%
教育活動支出計	18,141	92.2%
教育活動収支差額	1,031	-
教育活動外収入計	247	1.3%
教育活動外支出計	78	0.4%
教育活動外収支差額	170	-
経常収支差額	1,201	-
特別収入計	261	1.3%
特別支出計	127	0.6%
特別収支差額	134	-
基本金組入前当年度収支差額	1,334	6.8%
基本金組入額合計	△ 848	△ 4.3%
当年度収支差額	486	2.5%
前年度繰越収支差額	△ 22,898	-
基本金取崩額	0	-
翌年度繰越収支差額	△ 22,412	-
(参考)		
事業活動収入計	19,681	100.0%
事業活動支出計	18,346	93.2%

## 貸借対照表(平成30年3月31日)

資産の部	
科目	金額(百万円)
固定資産	57,237
有形固定資産	40,742
特定資産	2,068
その他の固定資産	14,427
流動資産	14,659
資産の部合計	71,896

負債・純資産の部	
科目	金額(百万円)
固定負債	8,592
流動負債	5,382
純資産	57,922
基本金	80,334
繰越収支差額	△ 22,412
負債及び純資産の部合計	71,896

\*表中の決算額は、百万円未満を四捨五入しているため、合計金額が計算上一致しない場合があります。

\*「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動に区分した附属表です。学校の本業である「教育活動」に係る学納金、人件費、教育研究経費等の収支、「施設整備等活動」として施設設備投資とその財源の収支、「その他の活動」として財務活動、収益事業に係る活動、預り金の受払い等を計上しています。

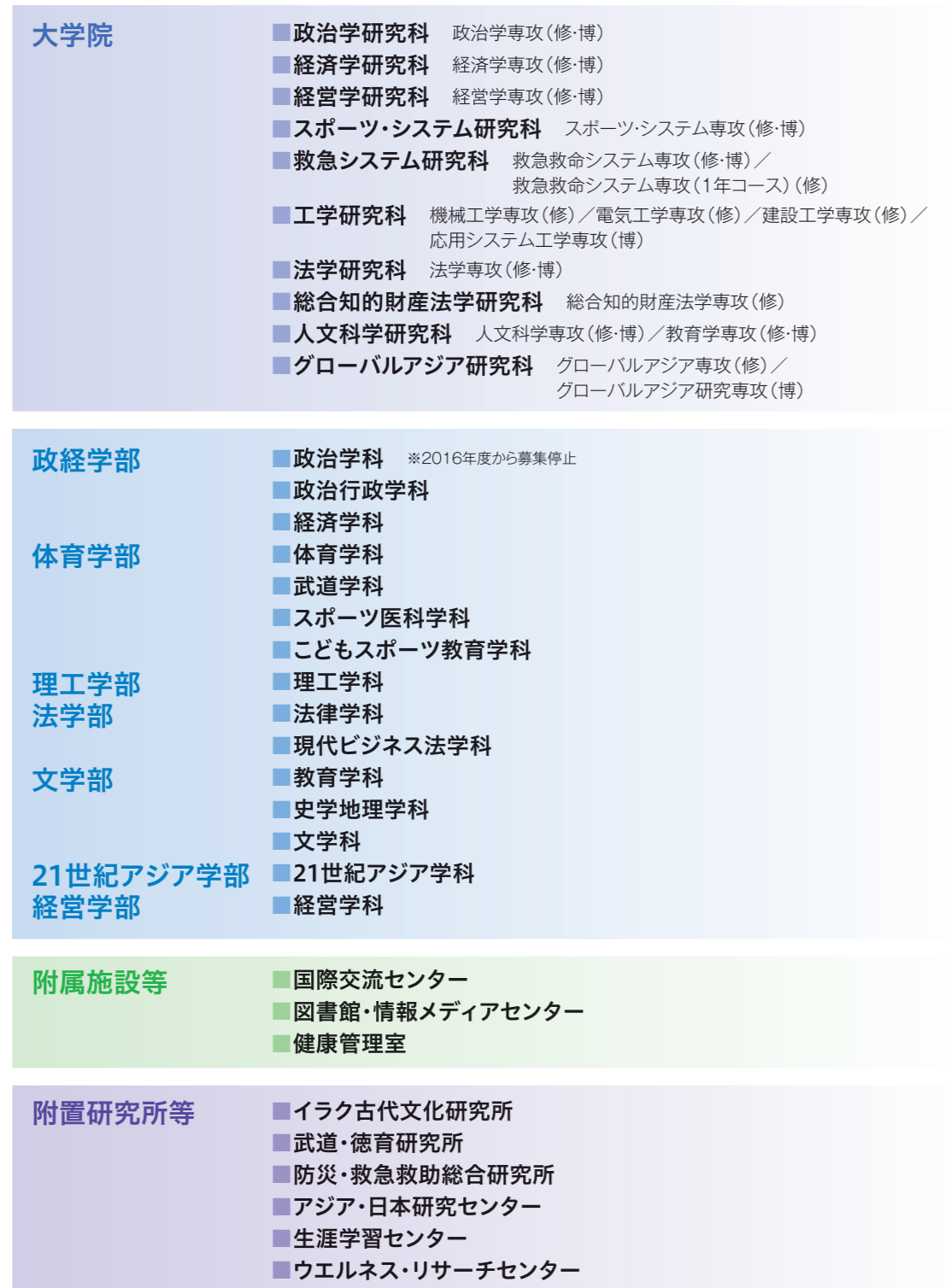
\*「事業活動収支計算書」は、学校法人における事業活動を経常的なものと臨時的なものに区分し、更に経常的なものは「教育(研究を含む)活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、また臨時的なものは「特別収支」として把握することとしています。基本金組入前当年度収支差額は、学校の採算性を示す企業会計の当期利益率に近い比率です。なお詳細は、本学のホームページで公開しています。



# 組織

## 教育研究組織図

### 大学



### 高等学校

- 全日制課程
- 昼間定時制課程

### 中学校

## 事務組織図

### 学校法人 国士館



# 組織

## 教職員数

		教員		職員		
		専任	その他	専任	その他	
法人	理事長室			1	5	
	企画課			5		
	広報課			5	1	
	東京オリンピック・パラリンピック支援課			1	1	
	法人事務局			1	3	
	総務部			1		
	総務課			6	1	
	人事課			7		
	財務部			1		
	経理課			7	1	
	管財課			7	1	
	健康管理室			3	8	
	町田校舎事務課			7		
	学部学科等設置申請事務課			1		
	監査室			3		
	募金事務室			2		
	国史資料室			2	3	
	計			60	24	
	大学	学長室				
学長課				4		
FD推進課				2		
IR課				3		
教務部				1		
教務課				29	8	
授業支援課				9	5	
学術研究支援課				4		
大学院課				7	3	
統合学部事務課				10	10	
学生部				1		
学生・厚生課				10	3	
スポーツ振興課				3	16	
寮務課				2	4	
入試部				1		
入学課				6		
学生募集課				6		
キャリア形成支援センター				1		
キャリア支援課				10	5	
大学院				63	6	
政経学部		47	99			
体育学部		65	78	15	21	
理工学部		46	141			
法学部		37	77			
文学部		55	108			
21世紀アジア学部		24	62	11	2	
経営学部		18	72			
国際交流センター						
国際交流課				7		
図書館・情報メディアセンター				1		
図書館課				5		
情報システム課				4		
イラク古代文化研究所		3		1	1	
武道・徳育研究所	1					
防災・救急救助総合研究所	4	2	1	3		
アジア・日本研究センター			1	1		
生涯学習センター			3	1		
ウエルネス・リサーチセンター						
計	300	702	158	89		
高等学校	全日制	34	24	5	7	
	昼間定時制	9	22	1	1	
	計	43	46	6	8	
中学校			8	4	1	1
合計			351	752	225	122

\*兼務、派遣を除く

## 役員・役職者等 (平成30年6月1日現在)

### 役員等

#### 理事長

大澤英雄

#### 理事

佐藤圭一

飯田昭夫

田代博司

福本正幸

岡林中今

天羽敬祐

石田唱司

島崎修次

瀨野 隆

山田慎吾

#### 監事

今福康夫

間瀬誠吾

#### 評議員

佐藤圭一

福田三郎

飯田昭夫

岸本 健

田代博司

長谷川均

福田 勇

横沢民男

柴田則夫

福本正幸

美納淳一

矢嶋宏一

岡林中今

加藤純一

小泉與七

谷岡三男

脇本三千雄

小山泰文

坂本廣身

島崎修次

瀨野 隆

矢野博志

山田慎吾

#### 館長

柴田徳文

### 国史館大学

#### 学長

佐藤圭一

#### 副学長

飯田昭夫

入澤 充

岸本 健

角田直也

#### 大学院研究科長

政治学研究科……………平石正美

経済学研究科……………阿部武司

経営学研究科……………佐藤圭一

スポーツ・システム研究科……………角田直也

救急システム研究科……………田中秀治

工学研究科……………本田康裕

法学研究科……………森田悦史

総合知的財産法学研究科……………飯田昭夫

人文科学研究科……………菱刈晃夫

グローバルアジア研究科……………小口和美

#### 学部長

政経学部……………岩元浩一

体育学部……………村岡幸彦

理工学部……………二川佳央

法学部……………中村達也

文学部……………中村一夫

21世紀アジア学部……………横沢民男

経営学部……………中根雅夫

#### 附属施設・附置研究所長等

国際交流センター……………大高敏男

図書館・情報メディアセンター……………藤森 馨

イラク古代文化研究所……………小口裕通

武道・徳育研究所……………佐藤圭一

防災・救急救助総合研究所……………島崎修次

アジア・日本研究センター……………平川 均

生涯学習センター……………村上純一

ウエルネス・リサーチセンター……………牧 亮

### 国史館高等学校・中学校

校長……………福田三郎

副校長……………岩淵公一

# 環境



最先端設備が集まるメインキャンパス  
渋谷・新宿から30分の立地ながら、静かな学びの環境

## 世田谷キャンパス

大学院 政治学研究科/経済学研究科/経営学研究科/工学研究科/法学研究科/総合知的財産  
法学研究科/人文科学研究科  
学部 政経学部/理工学部/法学部/文学部/経営学部

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1  
TEL 03-5481-3111 (代表)

国史館高等学校・中学校  
〒154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1  
TEL 03-5481-3131 (高等学校代表)  
TEL 03-5481-3114 (中学校代表)

土地面積 56,771m<sup>2</sup>  
建物面積 109,443m<sup>2</sup>

#### Ⓐ 正門受付

Ⓑ 中央図書館  
図書館・情報メディアセンター/  
多目的ホール

#### Ⓒ 1号館

理事長室/理事室/企画課/  
総務課/人事課/経理課/管財課/  
監査室/情報システム課/  
学生ラウンジ/学生食堂

#### Ⓓ 大講堂

Ⓔ 5号館  
学長室/副学長室/学部長室/  
学長課/IR課/教務課/  
授業支援課/学術研究支援課/  
統合学部事務課/研究室/教室/  
実験・実習室

#### Ⓕ 6号館

書店/文具店/研究室/教室

#### Ⓖ 7号館

国際交流センター/国際交流ルーム/  
研究室/教室/実験・実習室

#### Ⓗ 8号館

広報課/大学院課/入試部/  
キャリア形成支援センター/学生食堂/  
研究室/教室/実験・実習室/  
多目的ラウンジ

#### Ⓘ 10号館

学部学科等設置申請事務課/  
FD推進課/多目的フロア/教員コミュ  
ニティルーム/研究室/教室/  
実験・実習室/武道・徳育研究所

#### Ⓙ 24号館

高等学校昼間定時制教員室/  
事務室/クラブ部室/松陰寮/教室

#### Ⓚ 高等学校・中学校校舎

校長室/教員室/事務室/  
保健室/図書館/教室

#### Ⓛ グラウンド

Ⓜ 体育・武道館  
剣道場/柔道場/アリーナ/  
スカイコート/トレーニングルーム

#### Ⓝ メイプルセンチュリーホール

フィットネスセンター/温水プール/  
柔道場/剣道場/ランニングロード/  
アリーナ/多目的フロア/  
理工学部実習室/理工学部実習工場/  
大学院実習室/学生ラウンジ/  
理・美容室/教室

#### Ⓞ 柴田会館

国史館資料室/  
国史館資料展示室/研修室/  
空手道場/同窓会事務局

#### Ⓟ 国史館大学

地域交流文化センター  
生涯学習センター/  
イラク古代文化研究所展示室/  
実験・実習室

#### Ⓠ 34号館(梅ヶ丘校舎)

学生・厚生課/スポーツ振興課/  
東京オリンピック・パラリンピック支援課/  
募金事務室/学生相談室/  
健康管理室/教職支援室/  
教員コミュニティルーム/学生食堂/  
スカイラウンジ/アトリウム/  
展示コーナー/研究室/教室/  
実験・実習室

#### Ⓡ クラブ部室

Ⓢ ハイテク・リサーチ・センター棟

#### Ⓣ 学園祭実行委員会室

#### Ⓤ 38号棟

国史館大学教育後援会事務局

#### Ⓡ 国史館大学ゲストハウス



## Machida

東京・町田の丘陵に広がる、緑が爽やかなキャンパス

## 町田キャンパス

〒195-8550 東京都町田市広袴1-1-1  
TEL 042-735-3111 (代表)

土地面積 89,833m<sup>2</sup>  
建物面積 36,124m<sup>2</sup>

大学院 グローバルアジア研究科  
学部 体育学部(こどもスポーツ教育学科)/21世紀アジア学部

- a** 正門受付
- b** 中央広場
- c** 11号館  
健康管理室/学生相談室/教室
- d** 12号館  
大学院課/キャリア形成支援センター/  
イラク古代文化研究所/アジア・日本研  
究センター/学生食堂/鶴川寮/  
研究室/教室
- e** 13号館  
学生・厚生課/  
教職支援室/教室
- f** 14号館  
体育学部事務課(こどもスポーツ教育  
学科)/教室/実験・実習室
- g** 15号館  
管理室/教室/プール
- h** 30号館  
学部長室/21世紀アジア学部事務課/  
学生ラウンジ/研究室/  
教室/実験・実習室
- i** 野球場
- j** クラブ部室A棟
- k** 第2柔道場  
柔道場/トレーニングルーム
- l** 第3体育館  
剣道場/柔道場/アリーナ
- m** 第4体育館  
アリーナ
- n** 鶴川メイプルホール  
町田校舎事務課/教務課/  
国際交流センター/国際交流ルーム/  
生涯学習センター/  
図書館・情報メディアセンター/  
学生食堂
- o** 学園祭実行委員会室
- p** 書籍・文具店
- q** テニスコート/ゴルフ教場/  
弓道場
- r** 多目的グラウンド
- s** 多目的グラウンド管理棟
- t** 屋内野球練習場  
弓道場



## Tama

最新の各種スポーツ施設が整う広大なキャンパス

## 多摩キャンパス

〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1  
TEL 042-339-7200 (代表)

土地面積 162,394m<sup>2</sup>  
建物面積 25,334m<sup>2</sup>

大学院 スポーツ・システム研究科/救急システム研究科  
学部 体育学部(体育学科・武道学科・スポーツ医科学科)

- a** 教室・管理棟  
正門受付/学部長室/  
体育学部事務課/  
大学院課/学生・厚生課/  
キャリア形成支援センター/  
図書館・情報メディアセンター/  
生涯学習センター/教職支援室/  
教員コミュニティルーム/  
研究室/教室/実験・実習室
- b** 体育館棟  
多目的フロア/体操場/  
多目的フロア2/レスリング場/  
アリーナ1・2/教室
- c** 武道棟  
柔道場/剣道場
- d** 教室・研究棟  
健康管理室/学生相談室/研究室/  
教室
- e** 教室・実習棟  
防災・救急救助総合研究所/  
研究室/教室/実験・実習室
- f** 食堂棟  
学生食堂/売店
- g** メイプルセンチュリーセンター多摩  
スポーツパフォーマンスセンター/  
学生食堂/教室
- h** 学園祭実行委員会室
- i** 相撲教場
- j** ラグビー・  
アメリカンフットボール場
- k** 多目的グラウンド
- l** テニスコート
- m** 陸上競技場
- n** 管理A棟
- o** 管理B棟
- p** 管理D棟
- q** 野球場
- r** 多摩球心寮



# 歴史 年表



## 国士館の創建を支えた人々

創立者  
柴田 徳次郎 1890~1973

国士館創設の頃の日本は、第一次世界大戦によって一時期、好景気となりましたが、反面、地方の一漁村の主婦たちが起こした米騒動が、僅か10日あまりの間に全国各地に蔓延するなど、陰うつな世相でした。そのような時代を憂いた都下の青年有志たちが「青年大民団」を結成します。大民団の目的は、「言論」と「教育」をもって国家の繁栄と国民生活の平穩に資することにありました。

次世代を担う柴田徳次郎、花田大助、喜多悌一、上塚司ら大民団の活動は、「言論」では、1916(大正5)年6月の雑誌「大民」創刊以来、1945(昭和20)年までその役割を果たし、「教育」においては、1917年11月、東京・麻布に私塾「国士館」の創立をみましました。国士館は、1919年に世田谷に移って基盤を整え、高等部・中等部と本格的な学校を設け、これを起点に今の総合学園へと発展を遂げま

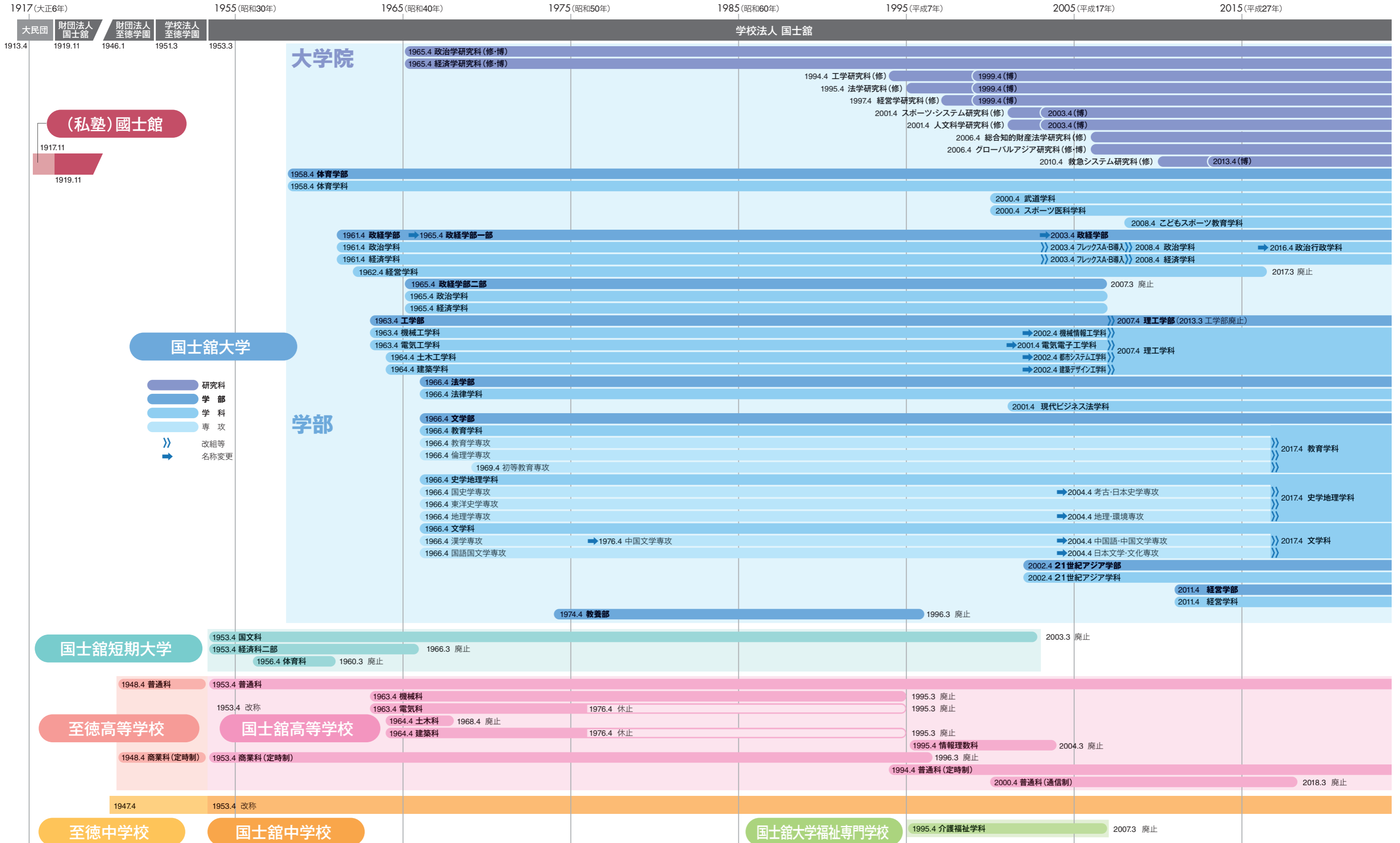
した。波瀾の時世、国士館の興隆を支えてきた人々は少なくありませんが、まず挙げなければいけないのは、終生、学園経営の責を担ってきた創立者の功業と、国士館創立期の支援者である頭山満、徳富蘇峰、野田卯太郎、渋沢栄一存在です。また、中野正剛、緒方竹虎、松野鶴平の名も国士館発展の歴史に深く刻み込まれています。

<p>1917 大正6年</p> <p>東京・麻布に私塾「国士館」を創立</p>	<p>1919 大正8年</p> <p>世田谷へ移転、世田谷校舎(現世田谷キャンパス)開設</p>	<p>1923 大正12年</p> <p>国士館中等部設置(大正14年3月閉校)</p>	<p>1925 大正14年</p> <p>国士館中学校設置(昭和24年3月廃止)</p>	<p>1926 大正15年</p> <p>国士館商業学校設置(昭和24年3月廃止)</p>	<p>1929 昭和4年</p> <p>国士館専門学校(国漢剣道科・柔道科)設置(昭和30年3月廃止)</p>	<p>1930 昭和5年</p> <p>国士館高等拓殖学校設置(昭和9年11月廃止認可)</p>	<p>1942 昭和17年</p> <p>国士館高等拓殖学校(満蒙支科・南洋科)設置(昭和20年12月廃止認可)</p>	<p>1945 昭和20年</p> <p>戦禍により校舎焼失</p>	<p>1946 昭和21年</p> <p>(至徳専門学校、至徳商業学校、至徳中学校となる)法人・学校名称を至徳学園に変更</p>	<p>1947 昭和22年</p> <p>至徳中学校(新制3年制)設置</p>	<p>1948 昭和23年</p> <p>新制4年制設置 至徳高等学校(全日制普通科)新制3年制、定時制商業科 至徳商業高等学校(新制3年制)設置(昭和24年3月廃止)</p>	<p>1951 昭和26年</p> <p>財団法人至徳学園から学校法人至徳学園に変更</p>	<p>1953 昭和28年</p> <p>国士館短期大学(2年制)設置 は至徳のまま、昭和30年3月廃止 高等学校、国士館中学校となる。専門学校至徳学園を国士館の名称に復す(国士館)</p>	<p>1956 昭和31年</p> <p>短期大学に体育科(3年制)設置(昭和35年3月廃止) 41年3月廃止、国文科平成15年3月廃止 国文科・経済科(2部)設置(経済科2部昭和31年3月廃止)</p>	<p>1958 昭和33年</p> <p>体育学部(体育学科)設置 国士館大学設置</p>	<p>1961 昭和36年</p> <p>政経学部(政治学科・経済学科)設置</p>	<p>1962 昭和37年</p> <p>政経学部(経営学科)設置</p>	<p>1963 昭和38年</p> <p>(平成19年4月理工学部改組、平成25年3月廃止) 工学部(機械工学科・電気工学科)設置</p>	<p>1964 昭和39年</p> <p>太宰府校地取得(平成25年4月閉鎖) 工学部に土木工学科・建築学科設置</p>	<p>1965 昭和40年</p> <p>政経学部(政治学科・経済学科)設置(平成19年3月廃止) 政治学研究科・経済学研究科(各修士・博士)設置 国士館大学院設置</p>	<p>1966 昭和41年</p> <p>文学部(教育学科・史学地理学科・文学科)設置 法学部(法律学科)設置 鶴川校舎(鶴川キャンパス)開設</p>	<p>1974 昭和49年</p> <p>教養部設置(平成8年3月解体)</p>
<p>1992 平成4年</p> <p>体育学部移転 多摩校舎(現多摩キャンパス)開設</p>	<p>1994 平成6年</p> <p>(新校舎完成) 国士館高等学校・中学校男女共学制導入 大学院に工学研究科(修士)設置</p>	<p>1995 平成7年</p> <p>(平成19年3月廃止) 国士館大学福祉専門学校設置 大学院に法学研究科(修士)設置</p>	<p>1997 平成9年</p> <p>大学院に経営学研究科(修士)設置</p>	<p>1998 平成10年</p> <p>中央図書館完成</p>	<p>1999 平成11年</p> <p>研究科に博士課程設置 大学院経営学研究科(工学研究科・法学)</p>	<p>2000 平成12年</p> <p>高等学校に通信制課程設置(平成30年3月廃止) 体育学部(武道学科・スポーツ医科学科)設置</p>	<p>2001 平成13年</p> <p>工学部電気工学科を電気電子工学科に名称変更 研究科(修士・博士)設置 法学部に現代ビジネス法学科、大学院にスポーツ・システム</p>	<p>2002 平成14年</p> <p>テム工学科、建築学科を建築デザイン工学科に名称変更 工学部機械工学科を機械情報工学科、土木工学科を都市シス 21世紀アジア学部設置</p>	<p>2003 平成15年</p> <p>政経学部を昼夜開講制に改組 大学院スポーツ・システム研究科・人文科学研究科に博士課程設置</p>	<p>2006 平成18年</p> <p>国士館大学地域交流文化センター完成 研究科(修士・博士)設置 大学院に総合的財産法学研究科(修士)、グローバルアジア</p>	<p>2007 平成19年</p> <p>工学部を改組し理工学部理工学科設置</p>	<p>2008 平成20年</p> <p>体育学部(こどもスポーツ教育学科)設置 完成 世田谷キャンパスに梅ヶ丘校舎(34号館)</p>	<p>2009 平成21年</p> <p>鶴川キャンパスを町田キャンパスに名称変更</p>	<p>2010 平成22年</p> <p>大学院に救急システム研究科(修士)設置</p>	<p>2011 平成23年</p> <p>経営学部経営学科設置</p>	<p>2013 平成25年</p> <p>大学院救急システム研究科に博士課程設置 ホール完成 世田谷キャンパスにメイプルセンチュリー</p>	<p>2016 平成28年</p> <p>政経学部政治学科を政治行政学科に名称変更 センター多摩完成 多摩キャンパスにメイプルセンチュリー</p>	<p>2017 平成29年</p> <p>国士館創立100周年</p>				
<p>大講堂完成</p>	<p>国士館中学校設置</p>	<p>国士館専門学校設置</p>	<p>国士館短期大学設置</p>	<p>国士館大学設置</p>	<p>鶴川校舎開設</p>	<p>多摩校舎開設</p>	<p>鶴川メイプルホール完成</p>	<p>国士館高等学校・中学校校舎完成</p>	<p>国士館大学福祉専門学校設置</p>	<p>中央図書館完成</p>	<p>梅ヶ丘校舎(34号館)完成</p>	<p>メイプルセンチュリーホール完成</p>	<p>メイプルセンチュリーセンター多摩完成</p>									



歴史

# 設置学校の変遷



歴史

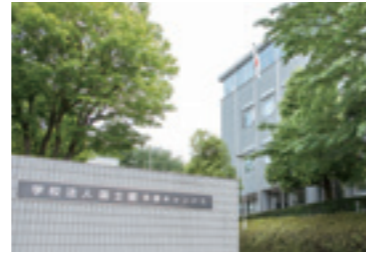
# アクセス

## 多摩キャンパスへのアクセス

- ▶小田急多摩線・京王相模原線永山駅前からスクールバス(無料)
- ▶小田急多摩線・京王相模原線永山駅バスターミナル3番乗り場から、「鶴川駅」「永山五丁目」行きバスで、「永山高校」下車、徒歩5分

### 永山駅スクールバス乗り場 <永山駅から多摩キャンパスまで>

所要時間:10分  
永山駅改札口を出て、階段を降りる。  
左手にある交番の前方に見える  
金属製のオブジェが目印。



## 町田キャンパスへのアクセス

- ▶小田急線鶴川駅前からスクールバス(無料)
- ▶小田急線鶴川駅バスターミナル2番乗り場から、「六丁目」「センター」「北廻り」のいずれかを經由する「鶴川団地」行きバスで8~10分、「国士館大学前」下車

### 鶴川駅スクールバス乗り場 <鶴川駅から町田キャンパスまで>

所要時間:10分  
鶴川駅の北口改札口を出て、  
まっすぐ鶴川街道まで20m進む。  
ベンチが目印。



## 世田谷キャンパスへのアクセス

- ▶小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
- ▶東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分



# お問い合わせ窓口一覧

## ▶大学

世田谷キャンパス(代表)	03-5481-3111
町田キャンパス(代表)	042-735-3111
多摩キャンパス(代表)	042-339-7200

## ▶国際交流・留学生・留学制度など

国際交流センター	03-5481-3206
----------	--------------

## ▶授業・履修・単位に関すること

政経学部事務担当	03-5481-3151
体育学部事務課	042-339-7202
体育学部事務課(こどもスポーツ教育学科)	042-736-2330
理工学部事務担当	03-5481-3251
法学部事務担当	03-5481-3312
文学部事務担当	03-5481-3231
21世紀アジア学部事務課	042-736-1050
経営学部事務担当	03-5481-3147
大学院課	03-5481-3140

## ▶図書館利用および学術情報検索

中央図書館(世田谷)	03-5481-3216
鶴川図書館(町田)	042-736-2341
多摩図書館(多摩)	042-339-7204

## ▶情報基盤について

図書館・情報メディアセンター	03-5481-3220
----------------	--------------

## ▶公開講座について

生涯学習センター	03-5451-1921
----------	--------------

## ▶諸資格(教員免許等)・単位互換・学費・各種証明書に関すること

教務課	03-5481-3202
-----	--------------

## ▶高等学校・中学校

国士館高等学校(全日制)	03-5481-3131
国士館高等学校(昼間定時制)	03-5481-5827
国士館中学校	03-5481-3114

## ▶学生の課外活動・奨学金・学生食堂など

学生・厚生課	03-5451-8114
--------	--------------

## ▶入試に関すること

入試部	03-5481-3211
-----	--------------

## ▶国士館の沿革/資料に関すること

国士館史資料室	03-3418-2691
---------	--------------

## ▶就職に関すること

キャリア形成支援センター	03-5481-3308
--------------	--------------

## ▶教育後援会に関すること

国士館大学教育後援会	03-3418-2692
------------	--------------

## ▶同窓会に関すること

国士館大学同窓会事務局	03-3413-7303
-------------	--------------

※スクールバスはイベント開催時を除く日曜・祝日は運行しません。詳細はホームページをご覧ください。>>> <http://www.kokushikan.ac.jp/access/>